



「読み書きが苦手を支える実践ヒント」

～音声教材で広げる授業・家庭学習・テストの支援～

ディスレクシア月間は、LD/ディスレクシアへの理解を社会全体に広げ、支援の「選択肢」を増やしていく啓発月間です。「見方」を変えて「味方」を増やそう、の合言葉に、一人でも多くの方にディスレクシアについて知っていただき、「ディスレクシアだから大丈夫！」と認めていただける社会を目指しています。

今回の研修会では、読み書きに困難のある子どもたちの学びを支える具体的な実践として、音声教材を活用した授業・家庭学習・評価場面での支援について学びます。あわせて、デジタル教科書や音声教材を取り巻く制度の動向も踏まえながら、これからの学びの環境について考えます。

●内容・講師

【講義①】『UD-Book』を活用した授業・家庭学習での支援』

講師：山下祥代先生（広島大学大学院人間社会科学研究科研究員）

【講義②】『BEAM』の技術を活用した音声教材や評価場面での合理的配慮』

講師：藤堂栄子先生（認定 NPO 法人エッジ会長、JDDnet 専門委員）

【ディスカッション】

「音声教材はどのような子ども・どのような場面で活用するとよいのか」「デジタル教科書の普及が進む中で、音声教材やアクセシブル教材は今後どのような役割を担っていくのか」について、最新の制度動向も交えながら議論します。

コメンテーター 氏間和仁先生（広島大学大学院人間社会科学研究科）

奥村智人先生（大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所）

●配信期間：2026年8月1日(土)～8月23日(日) オンデマンド配信

●参加費：一般参加チケット 2,000 円

応援チケット 3,000 円 / 応援チケット 4,000 円

※応援チケットは「ディスレクシア月間 All Japan」の活動を応援してくださる方向けの任意のチケットです。

●詳細・お申込み：<https://alljapandx202608.peatix.com>

申込〆切：2026年8月22日(土) ※コンビニ支払いは8月21日(金)まで

(7月31日(金)までにお申し込みいただいた方へ)

視聴 URL・パスワードは、7月31日(金)夕方～8月1日(土)午前中にかけて Peatix のメッセージにてお届けいたします。



【お問合せ】

本イベントに関するお問い合わせは、Peatix ページの「主催者に連絡」よりお送りください。